

SDGs推進事業・豊かさ分野 応援：埼玉県浦和競馬組合 社会貢献活動

事業名 ▶ 対等・水平な関係での対話を通じてつながる声・ひろがる未来

法人名 ▶ 特定非営利活動法人リバリュート



活動内容

「聴くこと」と「話すこと」を大切にする、以下の4つの取り組みを行いました。
・オンライン交流会「つながる声」：自身の病気や障害などの経験を話し、それを静かに聴いてもらう場をオンラインで4回開催しました。
・対面での対話イベント「ひろがる未来」：つながる声での登壇者が一堂に会し、川越市の公民館に集まり、直接顔を合わせることで、お互いの存在を身近に感じる場を作りました。
・経験を伝える動画の制作：不登校などを経験した方のエピソードを動画にし、YouTube等で公開。同じ悩みを持つ方へ届けました。
・「聴き方・話し方」の勉強会と研修：相手を尊重するオープンダイアログという対話を学ぶ会を計10回開催。地元の埼玉県内だけでなく、遠方からも多くの方が参加されました。



事業取組

地域に根ざした、無理のない継続的な運営を目指しました。
【地域の公共施設の活用】
川越市やふじみ野市の公民館を積極的に利用し、誰もが立ち寄りやすい場所で実施しました。
【スタッフの得意を活かした手作り運営】
動画の編集や講師などを、外部に頼むのではなく法人のスタッフが自ら行いました。これにより、活動にかかる費用を抑えながら、温かみのある運営を実現しました。
【自分たちの力で運営する仕組み作り】
一部の研修で参加費をいただくことで、助成金だけに頼り切らない、自立した活動の土台を作りました。

事業成果

活動を通じて、地域の中に以下のような前向きな変化が生まれています。
・人間関係がよりスムーズに 対話のコツを学んだ人が増えたことで、福祉や支援の現場において、支える側と支えられる側がより信頼し合える関係に変わってきています。
・「ひとりじゃない」という勇気 動画や交流会を通じて、今まさに悩んでいる方々が「自分にも価値がある」と感じ、前向きに社会とつながるきっかけを得ることができました。

総事業費 516,675 円

助成額 448,000 円

SDGs推進事業・パートナーシップ分野

事業名 ▶ 難民申請者等、マイノリティの方のくらしの支援と理解促進事業

法人名 ▶ 特定非営利活動法人ウィズ・ザ・スモール



活動内容

難民申請中の方や親を頼れない若者の暮らしを支える活動をしています。
シェアハウスでの住まいの支援やレンタルキッチンをお借りして多文化カフェの運営、日本語教室や上映会の開催などを行っています。

事業取組

・日本語教室を継続して実施しました。
・外国ルーツの方の防災対応力向上のために、ハザードマップなどの防災情報をやさしい日本語に変換する事業を進めています。
・難民申請中の方とともに多文化カフェを開催しました。
・スリランカ料理教室を立教大学のゼミ学生の皆さまと共催しました。
・難民の日本語教室を描いたドキュメンタリー映画の上映会を開催しました。



事業成果

多文化カフェや料理教室を通じて、地域の皆さまと外国ルーツの方々が見えあえる機会をつくることができました。今回行わせていただいた事業を今後も継続し、寛容な地域社会づくりに貢献していきたいと考えています。

総事業費 566,428 円

助成額 500,000 円

SDGs推進事業・人間分野

事業名 ▶ 子どもの学びを「LINEと動画」で伝える地域広報プロジェクト

法人名 ▶ 特定非営利活動法人マナビダネ



活動内容

NPO法人マナビダネは、学校に行きづらい子どもたちのために、地域で学びの場づくりを行う団体です。地元資源を生かした体験や人との関わりを通して、子どもが自分らしく育つ環境づくりに取り組んでいます。

事業取組

本事業では、学校に行きづらい子どもや保護者、地域の支援者に向けて、学びの場や子どもの様子を「LINE公式アカウント」や動画を通じて発信しました。活動の様子や子どもの変化、支援の考え方を分かりやすく伝えることで、地域の理解を深めることを目的としています。また、相談や見学につながる導線を整え、必要な家庭が地域の支援につながりやすい環境づくりにも取り組みました。

事業成果

LINEや動画での発信を通して、活動を知る保護者や地域の方が増え、見学や相談につながる機会が広がりました。
今後も情報発信を続け、不登校への理解を深め、地域で子どもを支えるつながりを広げていきます。

総事業費 513,406 円

助成額 462,000 円

自立促進事業・豊かさ分野 応援：株式会社ソニックフロー

事業名 ▶ 障害者の描いた絵画作品を使った持続的な自立支援活動

法人名 ▶ 特定非営利活動法人あいアイ(認定)



活動内容

私たちは「年齢・性別・国籍、そして障害の有無を問わず創造活動し、その成果を障害者の自立の一助とする」を目的に活動しています。
現在、川越市に障害者アートの「あいアイ美術館」、東京都北区に就労継続支援B型事業所「あいアイ工房」を開設しています。

事業取組

作品がどんなに個性豊かであっても、絵画だけで生活していくのは容易ではありません。そこで、継続的に収入を得られる事業の展開が不可欠と考え、次の取り組みを進めました。
① 障害者アートをオフィスなどに飾り、SDGsへの意識向上を図ること。
② 来客用のペットボトルに障害者アートをデザインし企業の社会貢献姿勢を自然な形で伝えること。
③ これらの事業をWEB広告で積極的に発信することで、認知を広げ受注の機会を増やして行くことです。

事業成果

作品レンタルの受注も獲得でき、大手企業からの問い合わせも増えるなど活動の幅が広がりました。
一方、HP上で「障害者アート」との表現を避けていたため「企業から検索されにくい」との課題も判明しました。
今後は今回分かった点を改善することで更なる認知拡大を図って行きたいと考えております。

総事業費 675,070 円

助成額 500,000 円